

橋本市未来プロジェクト 提案内容と回答（要約）

高野口小学校

1) 給食費無償化について

提案内容
・ 県内 9 つの市町村が無償化している。 ・ 無償化した場合、約 2 億円と大きな金額がかかる。 → 家庭の負担軽減のため、給食費の無償化をしてほしい。
回答
・ 子どもが少ない市町村がしているのかなと思います。また紀の川市は 5 年の限定で無償化しています。 ・ 限られたお金をどう使うかを考えないといけません。例えば、市民の皆さんがゴミの減量に協力していただいたので、その費用で高校生までの医療費の無償化が実現できています。どのようにして費用を作るのかを考えてから、給食費の無償化について考えないといけません。なかなか難しいのが現実です。 ・ 国や県も給食費無償化を考えていて、市に費用を補助してくれるのか注目しています。 ・ 給食の残量調査をして残量を減らす取組をしてくれたと思います。これから給食をしっかり食べてください。

2) 保護カフェについて

提案内容
・ 殺処分されている犬猫がたくさんいる。保護カフェで動物と触れ合い、譲渡もできる。 → 橋本市にも保護カフェを作ってほしい。
回答
・ さくら猫の会という市民の方の団体で、猫の譲渡会をしており、猫の赤ちゃんが増えないように活動してくれている。市は施設を貸すといった協力をしています。 ・ カフェを直接やることは難しいです。民間でやってくれるところがあれば協力できないか考えます。

3) 道路の白線について

提案内容
・歩行者も車も安心安全で、事故のない橋本市にしたい。 ・ジュンテンドー近くとボーイスカウト伊都第5団近くの「とまれ」の白線が見にくい。 ・高野口地区公民館を下った1つ目の信号を右折した道路の白線が消えている。 → 白線を塗りなおしてほしい。
回答
・市道で白線が消えているところが多く、言ってくれたとおりです。 ・道自体が悪くなっていて、舗装を直してから白線を引いていくところもあります。 ・すべて直すには時間もかかってしまう。できるだけ早く、危険度の高いところから直していきます。

4) 男女の制服について

提案内容
・クラス内アンケートで制服自由化を求める人が多い。 ・制服を自由にして困ることはないと思う。むしろジェンダーの観点から自由にしたほうがいい。 ・市全体の取組にすることで市の魅力が出せる。 → 市の決まりとして、制服を自由に選ばせてほしい。
回答
・どんな制服がいいのか学校の中で話し合っ決めてほしいです。また保護者の方の意見も聞いて、どんな服装がいいのか。私服にする場合、一定のルールはあるのかなと思うので、どのようなルールにするのかも話し合っしてほしいです。 ・市内小学校14校のうち6校が制服です。上下の制服や上だけが制服など、違いがあります。また残りの8校は私服です。なぜ違うかというと、学校ごとに決めているからです。教育委員会では、学校のみなさんで考えてほしいとお願いしています。

5) コミュニケーションを生む場所の設置について

提案内容
・人と触れ合える場所が少ない。昔は駄菓子屋など触れ合える場所があった。 ・自然と触れ合える場所が少ない。堺市には自然ふれあいの森がある。 ・本と触れ合える場所が少ない。海南市にはノビノスという本を読めるスペースがある。 → これらが解決できるような場所を作ってほしい。
回答
・今のように選べるスポーツやゲームがなかったので、昔は外で遊ぶしかなくて、遊べる場所を探しました。地域の中、みなさんの周りに、提案してくれた場所がないのか探してほしいです。 ・駄菓子屋は民間の方をお願いしたいです。 ・市の図書館や学校の図書室、県の図書館のオンラインがありますが、とても大事な場所です。みなさんにはまず、読む機会を増やして本を好きになってほしいと思います。 ・学校の図書室がどんな風になれば、本に触れ合えるのか自分たち自身で考えて試してみしてほしいです。

6) 夏休み中の地域イベントについて

提案内容
・知らない人とのコミュニケーションの機会が増え、ゲームをする時間が減る。 ・先生が子どもころは夏休みに自然に触れられる機会が多かった。 → 夏休みに自然に触れられるイベントを増やしてほしい。 → そのために宿題を無くしてほしい。
回答
・紀の川など、近くに自然に触れられる場所があるので、見つけてほしい。 ・自然に触れることと、宿題がないことは別の話ですね。宿題のことは校長先生、お願いします。

7) お祭りについて

提案内容
・祭りをすれば、橋本市を知ってもらえる。そうすれば人が増える。 → サマーボールの復活（花火が上がり、出店も多い。一方で場所が悪いので、紀の川グランドに戻してはどうか） → 秋祭りの新設（紅葉をみる）
回答
・サマーボールは令和5年度9月に実施する予定ですめています。 ・秋は地方祭といって、だんじりのように各地域でお祭りをしてもらっています。 ・こどもまつりをやろうと検討委員会をつくりました。どんな祭りが楽しいかを検討してもらっています。検討委員の方が聞きにくるかもしれませんが、その時は意見を出してほしいです。祭りは市役所だけではなく、地域みなさんと一緒に祭りをやっていきたいと思います。

8) 公園の設置について

提案内容
・公園の数、ランキングで和歌山県は44位。 ・ボールを使える公園がないので、投げる力が減っている。 ・公園が遠いので、子どもだけで行けない。 ・公園が少ないので、遊ぶ場所が限られる。 → 公園を増やすことで、人と交流でき、ゲームをする時間が減り、運動能力低下が防げる。
回答
・運動能力の低下ですが、運動場でたくさん運動していますか。運動する機会を増やしてほしいです。 ・住宅開発するときの都市計画に、開発する面積の何%は公園にしろというルールがあります。そこに従って公園を作っています。 ・あまり使われていない公園が多いので、その公園を減らすことで抑えられた維持管理費用で、たくさんの人が集まりやすい駐車場のある安全な遊具の公園をどう作っていくかを考えていきたいです。ボールを使いたい人とボールを使わないでほしい人もいます。そのあたりも考えて公園作りをしていきます。 ・なぜ公園でボールが使えなくなったと思いますか。地域の人と話してみてもいいかもしれませんね。

9) 公園の遊具について

提案内容
・和歌山県は遊具ランキング40位。 ・昔の遊具は危険な物が多く撤去されている。今は安全な遊具が多くなっている。 ・公園で過ごすストレス軽減等の効果がある。 → いろいろな遊具があり、みんなが楽しめて笑える公園を求めています。
回答
・昔は楽しい遊具があった半面、ケガをすることも多かった。きのこ公園や杉村公園には新しい遊具を設置して、たくさんの人に利用してもらっています。 ・遊具の少ない公園もありますが、まずは古くなった遊具を新しく更新して安全に遊べることを考えています。 ・学校にも安全で楽しめる遊具を設置できるようにしていきたいです。